

令和元年度事業報告

時代は平成から令和に変わり、前年度に世界審査でグリーンカードを取り戻した山陰海岸ジオパークは、さらに上を目指していくための土台を整える一年となった。

一つには、4年ぶりの「行動計画」の改訂である。統一性を図り、実効性のあるものにするため、利害関係者全員と話し合いの機会を設け、実直に改訂作業を行った。

また、令和2年4月から登用するゼネラル・マネージャーを決定するとともに、ジオパーク専門員の増員等組織体制の充実に向けた準備を進めた。

具体的な事業としては、第1回ロングライド・ラリーの開催、トレイルルートの設定完成など広域ジオパークの特徴を活かした取組を進めるとともに、プロモーションビデオの新規作成やインスタグラムを活用した情報発信の強化によりジオツーリズムの推進を図った。

さらに、第1回山陰海岸ジオパーク大会や、2030SDGsカードゲームを活用したステップアップ会議など、エリア内のネットワークを強化する取組を推進した。

なお、新型コロナウイルス感染症対策のため一部の事業が中止となった。(下線部)

1 山陰海岸ジオパーク基本計画・行動計画の改訂

活動を進めるベクトルを合わせ、実効性のある計画とするため、全市町で地域住民と意見交換会を実施し、その後協議会構成員・幹事会・全部会で協議し、さらに山陰海岸ジオパーク大会で修正案を提案し、パブリックコメントも実施した。

各界各層からいただいた様々な意見をできる限り反映し、令和2年1月に完成した。

これまでのジオパーク活動で成果が足りないところは地域に与える経済効果ととらえ、次の4年間は「産業振興・ツーリズム」を強化分野と定めた。

2 運営体制の強化

(1) ゼネラル・マネージャーの登用に向けた人選

ジオパークの経営や戦略立案に携わる責任者として、ゼネラル・マネージャーの登用に向けた人選を行った。

当初は平成31年4月の登用を目指したが、GGN再審査結果の伝達が遅くなり(正式通知は令和元年5月14日付)、その結果を見極めてから人選を行ったため、令和2年4月からの登用となった。

氏名：中瀬宏(なかせひろし)(60歳)

出身：豊岡市

前職：中海・宍道湖・大山圏域市長会 事務局長

(2) 事務局長の設置

自治体との調整力強化を図るため、引き続き行政出身事務局長を設置した。

(3) ジオパーク専門員の増員に向けた人選

ジオパーク活動の推進や、普及啓発活動を実施するため、ジオパーク専門員(1名)を設置しているが、広域ジオパークを効率的にカバーするため、ジオパーク専門員を1名増員することとし、令和2年4月からの採用に向けて人選を進めた。

3 ジオパークフォーラム等の開催

(1) 山陰海岸ジオパークステップアップ会議

山陰海岸ジオパークの理解を進め、地域間の連携を図るとともに、活動のすそ野を広げるため、関係者や一般参加者による議論積み上げ型のワークショップを開催した。

第1回（鳥取会場）

- 開催日：令和元年7月4日（木）
- 場 所：鳥取県立博物館（鳥取市）
- テーマ：海ゴミ問題を考えよう
～海ゴミ問題の現状を知り、これからの行動を考える意見交流会～
- 内 容：講演「プラスチックによる海洋汚染」
講師 小島あずさ氏（一般社団法人J E A N 事務局長）
ほか、各界から5名の取組報告とパネルディスカッション
- 参加者：150名

第2回（豊岡会場）

- 開催日：令和元年7月23日（火）
- 場 所：兵庫県豊岡総合庁舎（豊岡市）
- テーマ：2030SDGsカードゲーム
～カードゲームを通じてSDGsを知り、地球の未来を体験しよう！～
- ファシリテーター：郡山鈴夏専門員
- 参加者：20名

第3回（京丹後会場）

- 開催日：令和元年8月1日（木）
- 場 所：アミティ丹後（京丹后市）
- テーマ：先人の知恵を学んでこれからを生きる
～地形・地質と災害の深い関係を知り、これからの災害に備える意見交流会～
- 内 容：講演「震災の記憶を100年後に伝える」
小長谷誠氏（峰山高校教諭）
講演「地域特性を踏まえた川づくり～いまむかし～」
大滝裕一氏（京都府砂防ボランティア協会会員）
ワークショップ「地球の営みとそこに住む人々の知恵」
松原典孝氏（兵庫県立大学講師）
- 参加者：58名

第4回（豊岡会場）

- 開催日：令和元年9月12日（木）
- 場 所：豊岡稽古堂（豊岡市）
- テーマ：2030SDGsカードゲーム ～世界とあなたをつなぐSDGs～
- ファシリテーター：郡山鈴夏専門員
- 参加者：15名

(2) 山陰海岸ジオパーク大会（新規）

山陰海岸ジオパーク活動の10年経過と、GGN再認定を機に、これまでジオパークに関わってきた人が一堂に集い、これまでの活動を振り返って課題を共有し、将来

へ向けての対応策をそれぞれの立場から考えた。

また、長年にわたり山陰海岸ジオパークの推進に功労のあった方のうち、特に山陰海岸ジオパーク黎明期に功績のあった方7名を今回表彰した。

- 開催日：令和元年 11 月 25 日（月）
- 場 所：アールベルアンジェ（豊岡市）
- テーマ：新しい時代の幕開けに“夢を語ろう”
- 内 容：
 - 〈功労者表彰〉
谷本勇氏、中江忠宏氏、三木武行氏、西田良平氏、波田重熙氏、神近牧男氏、石田志朗氏
 - 〈基調講演〉
「ジオパーク活動 10 年の到達点とこれから」
齋藤清一氏（JGN事務局長）
 - 〈記念講演〉
「山陰海岸ジオパークの黎明期～ジオパークの提案～」
波田重熙氏（神戸大学名誉教授・山陰海岸ジオパーク推進協議会学術顧問）
 - 〈みんなの夢発表会〉 各界から 7 名
- 参加者：81 名

（3）山陰海岸ジオパークみんなの発表会

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科との共催により、活動実践者が一堂に会し、より一層の活性化のため活動事例の発表と意見交換を行った。

- 開催日：令和 2 年 2 月 9 日（日）
- 場 所：豊岡稽古堂（豊岡市）
- 内 容：口頭発表、ポスター発表
- 参加者：口頭発表 19 名、ポスター発表 17 件

（4）地域座談会

協議会スタッフが各地域を回り、地域で実践されている方々と、それぞれの地域課題や設定したテーマについて話し合い、お互いの理解を深めるとともに直面している課題への解決策を探った。

- 実施回数：7 回
- 参加者数：延べ 93 名

4 ジオパークイベントの開催

（1）山陰海岸ジオパーク・ロングライド・ラリー

山陰海岸ジオパークで開催される 3 つの自転車ライドの各実行委員会と連携し、ジオパークを自転車で走るツーリズムを推進した。

- 時 期：TANTANロングライド（京都府）令和元年 6 月 2 日（日）
コウノトリチャレンジライド（兵庫県）令和元年 9 月 8 日（日）
鳥取すごい！ライド（鳥取県）令和元年 10 月 20 日（日）
- 記念品：各大会での走行距離合計が長い順に、特製サイクルジャージ（10 名）、ジオパーク特産品（20 名）、参加賞（2 名）を贈呈した。
- 参加者：57 名（完走者 32 名）

（2）ジオパーク体験事業

ア 夏休みジオラマ教室

夏休みの自由研究を利用して、火山と大地のジオラマ模型を製作するとともに、玄武洞、神鍋の噴火、丹波竜、ゾウの足跡化石などについて、紙芝居を使って地球活動をわかりやすく小学生と保護者に解説し、広くジオパークに親しんでもらった。

(但馬鉄道模型クラブとの共催)

- 場 所：豊岡市内のコミュニティセンターなど計7会場
- 参加者：113名

イ 岩石標本作製

山陰海岸ジオパークの見どころを写真で巡りながら、世界に一つしかない「自分だけのオリジナル岩石標本」を作り、ジオパークに親しんでもらった。

- 場 所：但馬文教府（青少年のための科学の祭典）、鳥取砂丘ビジターセンター（鳥取砂丘ビジターセンターフェスティバル）、但馬ドーム（但馬まるごと感動市）等
- 参加者：112名

(3) 山陰海岸ジオパークスタンプラリー

ジオサイト、ジオパーク関連施設の知名度を高め集客を促進するとともに、地域間交流を図るため、AR観光ガイドアプリを利用したスタンプラリーを隠岐ユネスコ世界ジオパーク、JR西日本、京都丹後鉄道等と連携し実施した。

また、子ども向けに限定しない台紙型ラリーも実施した。

- 期 間：令和元年7月19日（金）～令和2年1月31日（金）
- 対象施設：ジオサイト、ジオパーク関連施設、遊覧船乗り場等（台紙用スタンプ設置箇所18施設、ARアプリ60箇所）
- プレゼント：スタンプ数に応じ、抽選で宿泊券、特産物等を贈呈
- 応募者：台紙型338名、ARアプリ69名（計407名）（※昨年度133名）

(4) プラチナ・トレインとのコラボ企画「山陰海岸ジオパークへ行こう！」

ジオパークの認知度を高め、将来の誘客につなげるため、(株)JR西日本コミュニケーションズ（大阪市）が開発し、(株)ジェイコンテンツ（大阪市）が運営するスマートフォンアプリ「プラチナ・トレイン」と連携し、アプリの中で山陰海岸ジオパーク内を巡るキャンペーンを実施中。

- 期 間：平成29年8月1日～延長中
- 参加者：延べ14,890人（令和2年3月末現在）
- 内 容：山陰海岸ジオパーク内の各エリアにGPSチェックポイントが出現
1箇所制覇する毎にアプリ内で使える仮想通貨を獲得
チェックポイント：244箇所（京丹後38、豊岡50、香美42、新温泉35、岩美17、鳥取62）

※プラチナ・トレインとは、運転士成長型スゴロクロールプレイングゲーム。西日本エリアの実在の車両や駅を使ったスゴロクゲームで、GPSチェックラリー機能等が楽しめる。

5 ジオパークフェスティバル等PR事業の開催

山陰海岸ジオパークの魅力を発信し、認知度向上を図るため、啓発活動を実施した。

(1) 首都圏PRキャンペーン（日本地球惑星科学連合2019大会と同時開催）

- 開催日：令和元年5月26日（日）
- 場 所：幕張メッセ（千葉県千葉市）

- 内 容：ポスター発表、パンフレット配布等
- (2) 京阪神PRキャンペーン（環境省共催）
 - 新型コロナウイルスの影響のため中止
- (3) 山陰海岸ジオパーク小学生駅伝競走大会（同実行委員会主催）
 - 開催日：令和元年10月26日（土）
 - 場 所：全但バス但馬ドーム（豊岡市）
 - 内 容：パネル展示、パンフレット配布
 - 参加者数：エリア内小学生選手522人
- (4) 山陰海岸ジオパークフェスティバル

各地域で行われているイベントの機会を利用し、写真の展示、ジオパークフィッシング、岩石神経衰弱等、子どもから大人まで楽しめるフェスティバルを実施した。

 - 京都会場（京都環境フェスティバル2019）
 - 日時：令和元年12月7日（土）、8日（日）
 - 場所：京都パルスプラザ（京都市）
 - 参加者数：約400名
 - 兵庫会場（コウノトリ翔る但馬まるごと感動市）
 - 日時：令和元年11月9日（土）、10日（日）
 - 場所：全但バス但馬ドーム（豊岡市）
 - 参加者数：約1,400人参加
 - 鳥取会場（秋のBS Sまつり）
 - 日時：令和元年9月21日（土）
 - 場所：ひまわり駐車場（鳥取県米子市）
 - 参加者数：約5,600人参加

隠岐ユネスコ世界ジオパーク、島根半島・宍道湖中組ジオパークと合同出展

6 山陰海岸ジオパークを活用した地域産業の振興

(1) ビジネス創出支援事業

山陰海岸ジオパークの多様な地域資源を活用して地域経済の活性化を図るため、ビジネスを新たに創出する事業またはビジネスプランの実現に向けた取組に要する経費の一部を支援した。

- 募集期間：令和元年4月1日（月）～5月7日（火）
- 補助金額：上限30万円
- 補助件数：2件

団体名	市町	事業概要
(有) 三国屋	豊岡市	クロスバイク（自転車）を活用し、ジオパークを巡る自転車ツーリングを開催
(株) マル海渡辺水産	新温泉町	山陰海岸ジオパーク3大遺産（北前船、但馬牛、余部鉄橋）と認定ジオガイドを活用したツアー商品の造成

7 ジオツーリズムの推進

(1) 山陰海岸ジオパークトレイルの全線開通

平成 27 年度から山陰海岸ジオパークトレイル協議会（事務局：鳥取市観光コンベンション協会）が中心となって進めてきた山陰海岸ジオパークトレイルコースについて、今年度、京丹後市と豊岡市の設定が完了し、全エリアが一本につながった。

- 全 長：230km（日本で 3 番目の長さ）
- コース数：27 コース
- コンセプト：海わたり、街つなぐトレイル

（2）テーマ型周遊ジオツアールートの検討

山陰海岸ジオパーク全体像の理解につながるテーマ型の周遊ツアールートを DMO 等の協力を得て検討し、ホームページでの紹介を進めた。

テーマはキャッチーな言葉に改題

- ①断層と温泉 → 地球の熱に癒やされる旅 ☼ 日帰りツアー
- ②地形と関わり合う漁港 → ぎよぎよ！ぎよ港巡り
- ③巨石と信仰 → 信仰の磐～The Sacred Rocks～
- ④戦国時代に城攻めしたルートと地形
→ もうひとつの天下分け目の戦い～織田 VS 毛利の攻防を巡る～
- ⑤幸せをよぶとりコウノトリ追っかけツアー
→ 幸せをよぶとり コウノトリを追っかけよう（日帰りツアー）
- ⑥山陰海岸ジオパークオススメ周遊コース → 迷ったらここへ！

（3）アクティビティプロモーション事業

エリア内のアクティビティ事業者と連携協力し、アクティビティ体験事業の共同 PR やイベントを企画し、認知度の向上と利用促進を図る。

→ 新型コロナウイルスの影響のため中止

（4）マリンアクティビティ活性化プロジェクト

海のアクティビティ事業者を対象に山陰海岸ジオパークの地形・地質・生物についての理解を深めるため、ガイドや若者の視点を取り入れた実践的なガイドテキストを作成するとともに、同テキストを活用して講座を開催した。（受講者数 22 名）

（5）ジオパークネットワーク構築事業

隠岐ユネスコ世界ジオパーク、島根半島・宍道湖中海ジオパークと連携し、事務局、自治体職員、ガイド、学生、観光協会等のジオパーク活動に関わる人材のネットワークを構築し、効果的な連携事業の実施を目的として開催した。

- 時 期：平成 31 年 4 月 12 日（金）～14 日（日）
- 場 所：隠岐ジオパーク
- 内 容：基調講演、ジオサイト視察・シーカヤック体験等
- 参加者数：17 名

（6）山陰海岸ジオパーク推進協議会公式インスタグラム「#わおじお」

山陰海岸の素晴らしい魅力（景観、グルメ、アクティビティ等）を訴求するための写真集的なもので、山陰海岸の様々な施設（駅、拠点施設、旅館、ホテル、飲食店）にフライヤーを設置して呼びかけをした。

- 投稿数：約 3,000 枚
- 紹介数：53 枚（フォロワー数 1,100 人）

(7) 学術部会等と連携したガイド研修

山陰海岸ジオパークガイド登録団体等を対象に、学術的知識向上を図るため、鳥取大学等と連携し、研修を実施した。

- 開催日： 令和元年 12 月 19 日（木）
- 場 所： 鳥取大学広報センター内コミュニティデザインラボ（鳥取市）
- 内 容： 「山陰海岸ジオパークみんなでおしゃべり 2 ～最新研究発表と地域資源を活用した俺たちのガイドツーリズム～」
山陰海岸ジオパークの研究の最前線を地域の方々に知って頂くとともに、ジオパークや地域資源をうまく活用した稼ぎ方や、地域の盛り上げ方など、実際に現場で活躍しているゲストを交えて話し合った。
- 参加者： 72 名

8 ジオパークガイドとの連携推進

(1) ジオパークガイド魅力向上支援事業

ジオツーリズムによる地域活性化を一層推進するため、ガイドの魅力向上を図る取組に対し、経費の一部を助成した。

- 対 象 者： 山陰海岸ジオパーク登録ガイド団体
- 補助対象：
 - ①外部講師を招聘した研修の実施
 - ②先進地の視察
 - ③ガイド能力の向上のための資格等の取得
 - ④関係団体等と連携した広域的モデルコースによるガイド活動の展開
 - ⑤その他
- 補助金額： 上限 10 万円(定額)
- 補助団体： 8 団体

団体名	市町	実施事業
琴引浜ガイドシンクロ	京丹後市	①ウィキペディア編集講師と共に街歩きをし、編集方法と情報発信方法を学ぶ
新温泉町ジオパークネットワーク	新温泉町	②3 ジオパーク合同研修に参加し、ガイド手法等の事例を学ぶ
NPO法人玄武洞ガイドクラブ	豊岡市	②3 ジオパーク合同研修に参加し、ガイド手法等の事例を学ぶ
NPO法人とっとり観光ガイドセンター	鳥取市	②3 ジオパーク合同研修に参加し、ガイド手法等の事例を学ぶ
NPO法人たじま海の学校	香美町	①外部講師を招聘しガイドスキルの向上を図る、⑤香住海上ジオタクシーのガイドポイントを学ぶ
海と空と森と人	豊岡市	③海上及び樹上プログラム催行のため、指導員資格を取得する
大堤うぐい突き保存会	鳥取市	②萩の世界遺産、秋吉台のガイド体験を通じ、お客様目線に立った接遇を学ぶ
NPO法人まちづくりSC	京丹後市	②島根半島・宍道湖中海ジオパークを訪れ、ガイドスキルの向上と他地域のネットワーク構築を図る

(2) ジオパークガイド外国人対応研修

より実践的な受入対応研修を検討していたところ、香港ジオパークから修学旅行団（小学生、山陰海岸と隠岐を訪問）派遣の申し出があり、この機会を活用したインバウンド教育旅行対応研修を検討していたが、新型コロナウイルスの影響で、訪

問団が利用を予定している米子香港便が運休となり、事業実施の見込みが立たないため、実地研修を中止した。

(3) ガイド交流会

山陰海岸ジオパークガイド及びそれを目指すガイドを対象に、視察研修、意見交換等を行い、資質向上及びエリア内の連携強化を図った。

〈第1回〉

- 日 時：令和元年8月28日（水）
- 場 所：山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館（岩美町）
- 内 容：山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館の見学と意見交換
- 参加者：35名

〈第2回〉

- 日 時：令和元年11月22日（金）
- 場 所：上山高原（新温泉町）
- 内 容：上山高原のジオサイト視察と意見交換
- 参加者：36名

〈第3回〉

- 日 時：令和2年3月3日（火）
- 場 所：豪商稲葉本家（京丹後市）
- 内 容：久美浜の町歩きと意見交換会
- 参加者：47名

(4) 鳥取大学乾燥地研究センター案内ガイド更新・養成講座

国内唯一の乾燥地問題研究機関である鳥取大学乾燥地研究センターの機能や研究成果を、ジオパークガイドの方々に知っていただき、ガイド活動に活用してもらうための講座を昨年度に続き実施した。（ガイド実績 275名）

- 日 時：令和2年3月10日（火）
- 場 所：鳥取大学乾燥地研究センター
- 内 容：同センターの機能や研究成果、ガイド立ち入り可能エリアの説明等
- 参加者：13名

9 保護保全活動の推進

(1) 保護保全活動支援事業（継続）

山陰海岸ジオパークの貴重な地形・地質や動植物、自然環境の保全を図るため、地域団体等が行っているジオサイトの保護保全活動を支援（補助）した。

- 募集期間：平成31年4月1日～令和元年12月27日

補助対象	清掃活動、自然環境の再生・維持活動、巡視活動、遊歩道等の整備・補修活動、希少な動植物の保護活動、保護保全のためのPR・調査研究等	
区 分	団体補助	交流活動補助
対象経費	地元団体が行う保護保全活動全般	地元団体が行う保護保全活動に遠方から概ね10名以上での参加協力にかかる移動・交流費用
補 助 率	定額	定額
補助金額	上限4万円	上限8万円
補助件数	経ヶ岬灯台保存会ほか14件	豊岡ローターアクトクラブ

- 主な活動：清掃活動、草刈り、登山道整備、倒木処理 等

(2) 山陰海岸国立公園&山陰海岸ジオパーク 見どころの魅力向上・発掘プロジェクト
環境省近畿地方環境事務所との連携事業。山陰海岸ジオパーク（山陰海岸国立公園）の地域資源（見どころ）の課題を把握し、地域の魅力向上につなげる取組を行った。

○ 事前ヒアリング：

京丹後市五色浜・夕日ヶ浦エリア、豊岡市気比エリア、円山川下流及びラムサール登録湿地エリア

○ モニターツアー：

夕日ヶ浦温泉周辺、豊岡市田結及び城崎町今津周辺

○ 今後の活用法：

環境省から出された報告書が地域にフィードバックされ、地域の魅力向上に活かす。

(3) モニタリングの実施

保護保全管理計画のもと、見どころの現状把握と課題認識のための調査を実施した。

○ 期 間：令和元年7月～9月

○ 対 象：京丹後市（立岩・大成、丹後高原）、豊岡市（日和山海岸、気比、城崎温泉）、香美町（久須部溪谷、美方高原）、新温泉町（浜坂西海岸、但馬御火浦、湯村温泉、上山・小又川）

○ 箇所数：41箇所

○ 調査者：部会委員及び環境省、府縣市町職員、地元ガイド

(4) 不法投棄ゴミ回収の実施

見どころの一つである田結湿地の環境保全およびロングトレイルコース整備のため、不法投棄ゴミ回収を実施した。

○ 時 期：令和元年5月26日（日）

○ 参加者：地域住民、大学生、豊岡市、兵庫県、建設業協会、推進協議会

○ 作業場所：豊岡市田結（県道久美浜気比線）

10 ジオパークを活用した学術研究・教育活動の推進

(1) 山陰海岸ジオパーク学術研究奨励事業

山陰海岸ジオパークを対象とした学術調査及び研究を奨励し、学術資料の蓄積を図るため、学生、若手研究者等を対象に調査研究を支援した。

○ 対 象 者：大学生、大学院生、研究者等

○ 対象事業：山陰海岸ジオパークに関する調査研究で、自然・環境や地域づくり及び地域経済等に関する調査研究

○ 募集期間：平成31年4月1日～5月10日

○ 補 助 率：定額

○ 補助金額：上限20万円

○ 採択件数：5件

○ 採択研究内容：

①鳥取県東部に分布する鳥取層群の堆積盆発達史

②鳥取市西部岩坪地域周辺の地質

③旅行者行動分析による価値共想が可能な観光マネジメントに関する基礎研究

- ④山陰東部地域の前・中期中新世の応力史と構造発達史
- ⑤山陰海岸ジオパークの理解を深めるための社会教育・義務教育向け題材研究

(2) 学術研究奨励事業発表会

→ 新型コロナウイルスの影響のため中止

(3) 山陰海岸ジオパーク児童研究作品コンテスト

域内の小学生の山陰海岸ジオパークへの関心を高めることを目的に、ジオパークに関する研究作品を募集し、発表会及び展示会を開催するとともに、優秀な研究作品に対して表彰を行った。

○ 募集時期：令和元年6月27日～9月27日

○ 応募件数：47点

〈審査会〉

○ 開催日：10月16日(水)

○ 場所：香住 B&G 海洋センター(香美町)

○ 審査員：教育部会員

○ 選考結果：最優秀賞2名、優秀賞4名、優良賞6名、ユニーク賞3名、努力賞3名

〈表彰式・発表会〉

○ 開催日：11月17日(日)

○ 場所：山陰海岸ジオパーク館(新温泉町)

〈巡回展〉

市町名	施設名	展示期間
新温泉町	山陰海岸ジオパーク館	10月25日(金)～12月8日(日)
鳥取市	鳥取砂丘ビジターセンター	12月17日(火)～1月7日(火)
京丹後市	ら・ぽーと	1月10日(金)～1月26日(日)

山陰海岸ジオパーク館では、応募作品すべてを展示

(4) 山陰海岸ジオパーク中高生政策提案・実践コンテスト

域内の中高生の山陰海岸ジオパークへの関心を高めることを目的に、青少年の自由な発想による観光客誘致や地域振興等の政策コンテストを募集し、優秀な研究作品に対し表彰した。

○ 募集時期：令和元年6月27日～令和元年9月27日

○ 応募件数：4件

〈審査会〉

○ 1次審査：書類審査

○ 2次審査：令和元年11月17日(日)

○ 場所：山陰海岸ジオパーク館(新温泉町)

○ 審査員：教育部会員

〈表彰式・発表会〉

○ 日時：令和元年11月17日(日)

※児童研究作品コンテスト表彰式と同時開催

○ 場所：山陰海岸ジオパーク館(新温泉町)

〈入選〉

区分	部門	学校名	テーマ
最優秀賞	実践	鳥取県立青谷高等学校課題探究「因州和紙研究」グループ	青谷の魅力 和紙でPR大作戦！
優秀賞	提案	鳥取県立鳥取西高等学校	SNSで魅力発信！
	実践	兵庫県立豊岡総合高等学校インターアクトクラブ	インターアクト米の稲作

(5) 持続可能な開発のための教育 (ESD) 研究大会

- 開催日：令和元年11月30日（土）
- 場 所：福山市立大学（広島県）
- 内 容：講演会、分科会（グループワーク）ほか
- 参加者：教育部会員1名、事務局1名
- ※ESD＝持続可能な開発のための教育 (Education for Sustainable Development)

(6) 学習指導事例調査

- 対象者：エリア内自治体のすべての小学校、中学校及び義務教育学校
- 内 容：各校のジオパークや地域資源を活用した学習実態をアンケート調査
- 期 間：令和元年度中にアンケート調査集計、令和2年度に学習指導案の取りまとめを実施予定

(7) 講師派遣事業

中学・高校・大学や青年会議所等各種団体、鳥取砂丘ビジターセンター等において、ジオパーク専門員や事務局職員を派遣し、学習の支援・ジオパークの普及・SDGsの学びと体験を行った。

- 実施回数：延べ18回
- 参加者数：延べ474人

(8) 山陰海岸ジオパーク専門員の設置

ジオパーク活動の推進や、教育・普及啓発活動を実施するため、ジオパーク専門員（1名）を設置した。

11 国際化の推進

(1) 次世代青少年等育成支援事業

山陰海岸ジオパーク活動に参画する人材を育成するため、山陰海岸ジオパークを対象とした優秀な調査研究や取り組みの成果を、国内外の学術会議等で発表する青少年等を対象に、会議等参加経費を支援した。

- 台湾地質公園国際シンポジウム（台湾） 兵庫県立大学大学院
- 日本地球惑星科学連合2019大会（千葉市） 鳥取県立鳥取東高等学校
- 第6回APGN（インドネシア） 浦富海岸シーカヤック協議会、玄武洞ガイドクラブ
- 第10回日本ジオパーク全国大会2019大分大会 京都府立峰山高等学校

(2) 国際連携事業等への参画

東南アジア地域における新たなジオパークの立ち上げを支援するとともに、日本のジオパークの国際貢献を推進する人材の育成・支援を図るため、JGNが実施する支

援事業「タイと周辺国のためのジオパーク・キャパシティ・ビルディング・ジョイント・ワークショップ」に参画した。

- 場 所：サトゥーンジオパーク、コラートジオパーク(タイ)
- 時 期：令和元年12月
- 内 容：新規認定審査・再認定審査に係る情報提供、APGN開催に係る情報提供ほか
- 参加者：JGC、JGN、山陰海岸ほか日本国内の5ジオパーク

(3) ギリシャ・レスヴォス島ジオパーク(姉妹提携先)との連携

レスヴォス島ジオパークを訪問し、豊岡高校SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)研修プログラムへの参加及び令和2年度の姉妹提携10周年記念交流事業協議を行うなど連携を図った。

- 時 期：令和元年12月
- 内 容：ジオサイトでの野外学習、博物館での座学と体験学習、学校訪問・交流、姉妹提携10周年記念事業協議
- 参加者：豊岡高校(校長・教諭・生徒9名)、県立大、兵庫県パリ事務所、推進協2名

(4) 国際推進員の設置

国際大会や外国人視察時における通訳業務、日英の翻訳業務など山陰海岸ジオパークの国際連携と外国人受入体制を強化するため、事務局に国際推進員(1名)を設置した。

(5) 中華圏プロモーションに向けた現地取材

中華圏への情報発信のため、現地で活動する芸能人を招聘し、現地取材と発信を行ってもらった。

- 日 程：令和元年10月7日(月)～9日(水)
- 招聘者：辻詩音(シンガーソングライター)
谷口弘記(ひょうご国際ビジネスサポートデスク)
- 視察先：香美町立ジオパークと海の文化館、玄武洞、城崎温泉、あまるべ等

12 普及啓発活動の実施

(1) 広告媒体等による普及啓発

- 但馬空港待合ロビーの電照パネル
- 広告媒体による情報発信
(県民だより兵庫、旅楽、日本海新聞、T2、魔法のラジオ(民放ラジオ番組)等)
- 企画展の実施(全国大会報告会、キョウコのと きめく石の世界展)
- ホームページ、ARアプリの運営
- PRグッズの作成(ボールペン、クリアファイル、リングノート、のぼり旗)
- まるごと体感マップデータの更新

(2) ホームページのリメイク

現ホームページは開設以来、様々な項目が増えすぎて分かりにくい構成となっていることから、より見やすく、より使いやすくするため、この度完全リメイクすることとし、準備を進めた。

- 主な修正内容

スマホ仕様に変更、入り口を協議会サイトと観光サイトに分割、協議会組織の見える化、協議会事業（行動計画等）の紹介、写真のフリー素材をアップ等

(3) プロモーション映像の作成

山陰海岸ジオパーク全体を対象とするプロモーション映像を作成した。今後、完成した映像は、ホームページで公開するとともに、拠点施設やイベント等において上映し、来場者・観光客に視覚で山陰海岸ジオパークの魅力をPRする。（1映像あたり3分程度×3種類）

- ①「景」（四季）
- ②「遊」（アクティビティ）
- ③「ダイジェスト版」

13 専門部会等の開催

(1) 総会及び幹事会

- 開催日：令和元年5月16日（木）
- 場 所：豊岡市役所（豊岡市）
- 議題等：平成30年度事業報告・収支決算報告、令和元年度事業計画・収支予算等

(2) 運営委員会

行動計画改訂、協議会事業の進捗状況、年間事業報告、次年度事業計画等の審議

(3) 専門部会

- 学術部会：学術研究奨励事業審査、海外ジオパークとの交流ほか
- 教育部会：児童研究作品コンテスト等、E S D研究大会、学習指導事例調査ほか
- ツーリズム部会：ガイド魅力向上支援事業、ジオツーリズム事業ほか
- 保護保全部会：管理計画に基づくモニタリングの実施、環境省連携事業ほか
- 地域産業部会：ビジネス創出支援事業審査、ロゴマーク商品への高付加価値化検討ほか
- ガイド部会：ガイド交流会、2020 J G N全国大会プレ・ポストツアー検討ほか

(4) 府縣市町連携会議

毎月1回、事務局・構成自治体・学識専門員が活動目標の共有やコミュニケーションを図る会議。年度初めには中貝会長の訓示をいただいた他、定期的に、各種大会や視察等の報告会を盛り込むなど内容の充実に努めた。

(5) 拠点施設情報共有会

8カ所の拠点施設間の代表者が集い、1月に1回のペースで持ち回りにより開催。山陰海岸ジオパークの情報の窓口として、それぞれの施設の特徴を学び、また相互にアドバイスしあうことで機能強化を図り、連携の強化につなげた。

14 山陰海岸ジオパーク推進支援業務の委託

(1) 兵庫県立大学への業務委託（継続）

山陰海岸ジオパークに関わる地質学的、生態学的研究を基にする山陰海岸ジオパークの活用方法及びマネジメント等に関する業務を兵庫県立大学に委託した。

(2) ジオパークが地域の発展に与える効果検証事業（兵庫県受託事業）

ジオパークの活動が地域の観光、物産、雇用等に与える経済効果の検証及び、ジオ

パークが地域の人々の暮らしや考え方（防災意識、郷土愛、誇りなど）に与える影響の分析評価を実施した。

今後はこれをエビデンスとして、エリア内外で情報共有し、活動レベル向上の方策について検討を進め、特に産業振興分野を強化していく。

- 調査範囲：豊岡市・香美町・新温泉町
- 調査項目：経済面、心理面、環境面

15 ジオパークネットワーク活動の展開（継続）

(1) 世界ジオパークネットワーク（GGN）

ア GGNニュースレター

GGNへの貢献の一つとして、山陰海岸ジオパークの先進的・優良事例をGGNニュースレターに投稿（5件）し、3件が掲載された。

- 「山陰海岸ジオパークがより良くなるためジオパーク以外の視点から魅力を探る」（山陰海岸ジオパークフォーラム2019）
- 「鳥取大学乾燥地研究センターとの連携事業により、人類と自然の繋がりを感じられる学びを提供」
- 「ジオツーリズム 山陰海岸ジオパーク・ロングライド・ラリー」

イ 世界ジオパーク審査

学識専門員1名（兵庫県立大学地域資源マネジメント研究科 松原典孝講師）を再認定評価者として2か所のユネスコ世界ジオパークに派遣した。

- 令和元年7月14日～17日 レイキャネス（アイスランド）
- 令和元年7月21日～25日 リュベロン（フランス）

(2) アジア太平洋ジオパークネットワーク（APGN）

ア 第6回APGNシンポジウム

- 開催日：令和元年9月2日（月）～6日（金）
- 場所：リンジャニーロンボクジオパーク（インドネシア）
- 内容：セッション、ジオツアー、口頭発表、ポスター発表
- 参加者：事務局5名、ガイド5名、県立大3名

イ 野柳石光一夜訪女王及び国際シンポジウム

- 開催日：平成31年4月18日（木）～23日（火）
- 場所：台湾野柳地質公園
- 内容：友好公園のプロモーション、PR展示
- 参加者：事務局1名、ガイド3名

ウ APGN生徒交流プログラム2019

- 開催日：令和元年8月5日（月）～9日（金）
- 場所：香港ジオパーク
- 内容：高校生同士の交流、ボートツアー、体験活動（ペイントアート）
- 参加者：事務局1名、鳥取敬愛高校教諭1名・生徒2名
香港ジオパークから生徒18名、糸魚川ジオパークから生徒29名

(3) 日本ジオパークネットワーク（JGN）

ア 日本地球惑星科学連合大会（ジオパークセッション）

- 開催日：令和元年5月26日（日）
- 場 所：幕張メッセ（千葉県千葉市）
- 内 容：各地のジオパークポスター発表、教育旅行相談 等
- 参加者：事務局5名

イ JGN総会

- 開催日：令和元年5月27日（月）
- 場 所：参議院議員会館（東京都千代田区）
- 内 容：平成30年度事業報告・決算報告、令和元年度事業計画・予算
- 参加者：事務局長、事務局次長

ウ 2019年度新任者研修会（伊豆半島ジオパーク主催）

- 開催日：平成31年4月22日（月）～24日（水）
- 場 所：伊豆半島ジオパーク（静岡県伊東市・熱海市）
- 内 容：座学、巡検
- 参加者：事務局3名

エ 第13回JGN全国研修会

- 開催日：令和元年5月28日（火）～29日（水）
- 場 所：銚子ジオパーク（千葉県銚子市）
- 内 容：グループ討議、フィールドワーク
- 参加者：事務局3名

オ 第10回JGN全国大会2019 おおいた大会

- 開催日：令和元年11月1日（金）～5日（火）
- 場 所：おおいた豊後大野ジオパーク、おおいた姫島ジオパーク（大分県）
- 内 容：基調講演、パネルディスカッション、分科会、ジオツアー
- 参加者：事務局7名、県立大5名、府縣市町21名、峰山高校5名

カ JGN中四国近畿ブロック連携会議

- 開催日：令和2年1月23日（木）～24日（金）
- 場 所：南紀熊野ジオパーク（和歌山県串本町、古座川町）
- 内 容：南紀熊野ジオパークセンターの視察、グループ討議、フィールドワーク
- 参加者：事務局2名、ガイド1名

16 各地域からの視察

(1) サトゥーンジオパーク（タイ）

- 視察日：令和元年5月31日（金）～6月1日（土）
- 視察者：6人
- 内 容：現地視察（玄武洞、ジオパークと海の文化館、県立大学、コウノトリ文化館）

(2) 北摂里山サポーターズクラブ（事務局：兵庫県阪神北県民局内）

- 視察日：令和元年11月27日（水）
- 視察者：37人
- 内 容：ジオパーク及びコウノトリ野生復帰の解説を実施

(3) オーストラリア (シャイア・オブ・マウント・マグネット)

- 視察日：令和2年3月6日(金)、7日(土)
- 視察者：1人(西オーストラリア州のエディス・コワン大学教授)
- 内 容：現地視察(玄武洞ほか)

令和元年度府県市町等事業報告

1 ジオパークイベントの開催

- (1) 山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク第19回丹後100kmウルトラマラソン(京丹後市)
- 開催日: 令和元年9月15日(日)
 - 場 所: 京丹後市内
 - 内 容: 日本海側を代表する美しい海岸線と緑豊かな山並みが織りなす素晴らしい景色を3,105名が走った。
- (2) ジオパークウォーキング(香美町ジオパーク推進協議会)
- 開催日: 令和元年10月17日
 - 場 所: 香美町香住区余部地内
 - 内 容: 余部鉄橋「空の駅」から鎧地区の間の遊歩道(たかのすの森)をジオパークガイドと一緒にウォーキングを行った。
 - 参加者: 13名
- (3) 多鯨ヶ池手づくりいかだレース大会(鳥取市)
- 山陰海岸ジオパークの代表的なジオサイトである鳥取砂丘に隣接する「多鯨ヶ池」に多くの人が集まることで、地域住民との交流を図り、地域の活性化に取り組んだ。また、開催中、多鯨ヶ池の成り立ちがわかるジオラマを展示し、ジオパークへの関心を高める活動も行われた。
- 日 時: 令和元年7月27日(土)
 - 場 所: 鳥取市福部町湯山(多鯨ヶ池)
 - 参加者: 284名
- (4) ジオウォーク in 因幡・但馬 2019(新温泉町・岩美町・鳥取市・鳥取県)
- 開催日: 令和元年10月5日(土)
 - コース: 5kmコース 居組～陸上 124名参加
 - 10kmコース 居組～浦富 274名参加
 - 20kmコース 鳥取砂丘～浦富 117名参加
- (5) ジオサイト宝探しゲーム(岩美町)
- イベントチラシに書かれた謎を解いて岩美町内のジオサイトやジオパーク関連施設に置かれた宝箱を探していただき、ジオパーク関連施設等への誘客を図った。
- 時 期: 令和元年7月20日(土)～9月23日(月・祝)
 - 参加者: 228名
- (6) 浦富海岸ジオウォーク(浦富海岸ジオウォーク実行委員会)
- ウォーキングを楽しみながら浦富海岸を満喫していただいた。
- 開催日: 令和元年5月25日(土)
 - 参加者: 中級者向け「山陰海岸ジオパークコース」 82名
 - 初級者・ファミリー向け「日本の渚百選コース」 95名
 - 上級者向け「自然歩道踏破コース」 120名

2 ジオパークフェスティバル等PR事業の開催

- (1) Radio Expo 2020 (TBSラジオ主催) (鳥取県)
※ユネスコ世界ジオパーク道府県連合として参加
山陰海岸ジオパークと麒麟のまち等の情報発信のため、麒麟のまち観光局と共同でブース出展するとともに、全国ネットのラジオ番組でPRを行った。
- 開催日：令和2年2月10日(月)、11日(火)
 - 場所：パシフィコ横浜(横浜市)
 - 内容：パネル展示、パンフレット配布、鳥取砂丘砂絵体験等
 - 来場者数：21,200人

3 山陰海岸ジオパークを活用した地域産業の振興

- (1) 魅力活用総合補助金(鳥取県、鳥取市、岩美町)
産業振興、商品開発、ジオツーリズム促進、普及啓発の推進等、関連した取組を支援した。
- 補助件数：22件

4 ジオツーリズムの推進

- (1) 山陰海岸ジオパークトレイル魅力発信事業(京都府)
ロングトレイルルートの策定の動きを丹後地域への交流人口の増加や地域の活性化に繋げるため、ガイド団体と連携し、トレイルガイド・チラシ、スタンプラリー、マップ等を作成した。
- (2) 京丹後エリアトレイルコース完成イベント～モニターツアー～(京都府)
→ 3月22日に予定していたが、新型コロナウイルスの影響のため中止
- (3) 秋のe-バイクライドツアー(京都府)
e-バイクで巡るジオパークエリアのガイドツアーを実施した。
- 9/14(土)～15(日) 夕日ヶ浦～久美浜エリア 応募なし
 - 10/12(土) 久美浜エリア 台風で中止
 - 11/4(月) 丹後町エリア 10人参加
- (4) たじまわる「ジオパーク号」等の運行(但馬観光協議会(事務局：兵庫県))
公共交通機関を利用して訪れた観光客も気軽に山陰海岸ジオパークの見どころを周遊できるよう、周遊バス「たじまわる」を運行した。
- ジオパーク号：5月11日～7月15日の土日祝
湯村温泉～但馬海岸遊覧船～道の駅浜坂の郷～道の駅あまるべ～大乘寺～香住鶴他(定期観光)、186人
 - マリンコース：7月20日～8月31日の土日祝
城崎温泉～城崎マリンワールド～竹野浜～今子浦～ジオパークと海の文化館～大乘寺～あまるべ他(路線バス)、223人 ほか
 - 乗車料金：1日1人500円、小人250円、車内ガイド付き、予約も可能
- (5) 山陰デスティネーションキャンペーン(鳥取県、鳥取市、岩美町)
- 開催期間：令和元年7月～9月
 - 内容：山陰両県とJRが連携して大型観光キャンペーンを行い、山陰エリアへの誘客を図った。

- (6) 臨時快速「山陰海岸ジオライナー」に係るキャンペーン
(鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会(事務局:鳥取県))
鳥取～豊岡間の交流促進及び山陰海岸ジオパークのPRのため、JRが平成23年から毎土日祝日に鳥取・豊岡間を一日一往復運行している「山陰海岸ジオライナー」について、列車運賃等を支援するキャンペーンを実施。
- (7) 香美町ジオカヤック講習会(香美町)
山陰海岸ジオパークの魅力を広め、安全に体感してもらい、また、ジオツーリズムや自然学校の誘客を図るためには、カヤックの普及やカヤックの指導者を育成する必要があり、講習会及び検定会を実施した。
○ 時期等:令和元年6月実施、2名合格
- (8) ジオツーリズムバスツアー(香美町)
香美町内のジオスポットを巡るバスツアーの企画実施に対して補助する。
→ 新型コロナウイルスの影響のため中止
- (9) マリンアクティビティの活用(新温泉町)
○ 居組シーカヤック体験(5回開催、計36名参加)
○ 田井の浜SUP体験&ビーチクリーン(9/7(土)開催、4名参加)
- (10) 鳥取砂丘砂の美術館関連事業(鳥取市)
形を保ちやすい鳥取砂丘の比較的下層部にある砂「古砂丘」を利用した彫刻作品「砂像」を展示し、全国に鳥取砂丘の魅力を発信。併せて、世界のジオパークの紹介も実施した。
○ 令和元年入込数:496,574人
- (11) 鳥取砂のルネッサンス(鳥取市)
鳥取砂丘の「砂」ブランドの価値を高め、地域の活性化に結びつけるため、民間で組織する実行委員会と共催し、国内砂像選手権を中心とした砂に関するイベントを実施した。
○ 入場者:約18,000人
- (12) サイン整備
○ 道路標識整備(道標8基、標識3基)(京都府)
○ ジオパーク解説看板整備(餘部駅、余部鉄橋等)(香美町)

5 ジオパークガイドとの連携推進

- (1) ガイド養成講座・ガイド研修・交流会の実施(各府県市町)
- 京丹後市ガイド養成講座
→ 全4回予定、新型コロナウイルスの影響のため3回中止
 - 京丹後市ジオパークガイド研修会 → 新型コロナウイルスの影響のため中止
 - 豊岡市ガイド養成講座 → 新型コロナウイルスの影響のため中止
 - 香美町ジオガイド養成講座(6回開催 延56名受講 5名が終了)
 - 香美町スキルアップ講習会
6月に「ジオカフェ」を開催し一般参加者を含む30名が参加
 - 新温泉町ジオガイド養成講座(6講座開催 52名参加)

- 岩美町（いわみガイドクラブ）ガイド講座（9回開催 延べ122人参加）
- 鳥取県ジオガイド交流会（4回開催：延べ77人参加）
- 鳥取市ジオガイド養成講座（6回開催：延べ157人参加）

6 保護保全活動の推進

- (1) 立岩清掃委員会による清掃活動（京丹後市）
 - 実施日：4/20（土）、6/9（日）
 - 場 所：立岩周辺
 - 参加者：4/20は60名、6/9は30名

- (2) 京丹後市ビーチ一斉クリーン作戦（京丹後市）
 - 実施日：6/22（土）
 - 場 所：浜詰～箱石浜
 - 荒天のため中止

- (3) ジオカヤック清掃活動（香美町）

香美町内の海岸でカヤックによる清掃活動を実施する。

→ 7月12日に計画したが天候悪化の為中止

- (4) 浦富海岸マナー啓発キャンペーン（環境省・鳥取県・岩美町・観光協会ほか）
 - 実施日：7/21（日）、7/28（日）、8/4（日）
 - 場 所：山陰海岸国立公園浦富海岸（特別保護地区）
 - 参加者：27名

- (5) 全町一斉クリーン作戦（岩美町）
 - 実施日：8/4（日）
 - 場 所：町内全域

- (6) 鳥取砂丘未来会議の実施（鳥取県・鳥取市）

除草のあり方や保安林などに関する課題を解決するため調査研究会を実施した。

- (7) 鳥取砂丘の保護保全（鳥取市）

年間を通して環境整備を委託する鳥取砂丘魅力向上推進事業、鳥取砂丘にある海岸漂着物収集運搬処理を実施した。

7 ジオパークを活用した学術研究・教育活動の推進

- (1) 体験学習の開催（鳥取県）

体験学習を通じたジオパークの普及啓発を図るため、下記事業を開催した。

 - ジオキッズ・サマースクール（7/29～30、8/5～6（1泊2日 2回開催）、参加者数：40名）
 - 科学実験教室（6/3 参加者数：約850人）、
 - サイエンスカフェ（6/22、7/6、10/27、12/76（4回開催） 参加者数：75名）

- (2) 他機関との共同研究（鳥取県）

鳥取大学等の学術関係者と海と大地の自然館学芸員が、共同でジオパークに関する調査研究活動を行った。調査研究の成果は展示や講座、パンフレット等で活用。

- 地形・地質分野：駟馳山、青谷町等の地質調査
- 生物分野：山陰海岸ジオパークエリアにおける生物相調査（棘皮動物、ウミウシ、ホヤ）

(3) 岩石学習エリアの整備（鳥取県）

来館者の受入体制を強化するため、山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館の裏庭に山陰海岸の岩石を展示・学習できる庭園を整備し、中核拠点施設としての機能向上を図った。

(4) 大地の学習（京丹後市）

京丹後市内の小学6年生を対象に、市内ジオサイトを巡りながら希少な地形地質や丹後大震災等の歴史を学ぶ授業を実施。

(5) 出前講座

ア 京丹後市

市内の小・中学校で出前講座を実施。（3回）

イ 豊岡市

市内の学校（小学校・中学校・高等学校）やガイド団体等に、ジオパーク普及啓発専門員を派遣し、出前講座を実施。（11回）

ウ 新温泉町

町内の地区公民館行事にてジオパーク館長を講師として実施（1回）

(6) 小中学校・公民館出前講座及び小学校校外学習の支援（鳥取市）

鳥取市内の小中学校・公民館で出前講座を実施するほか、鳥取市内の小学校等43校が行う校外学習バス料金を支援した。

8 国際化の推進

(1) 香港ユネスコ世界ジオパークとの中・高校生交流（鳥取県）

香港ユネスコ世界ジオパークを学ぶ香港の中・高校生の一団33名が来県し、山陰海岸ジオパークのサイト、施設等を訪問するとともに、山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを学ぶ地元高校生と交流を行った。（4/6～8）

9 普及啓発活動の実施

(1) ジオパークアクティビティVR動画作成（香美町内）（香美町）

シーカヤック、マウンテンバイク、ツリーイング、スキーのVR体験。
12月から香美町ジオパークと海の文化館にて公開。

(2) 山陰海岸ジオパークバスツアー（香美町）

香美町民を対象にしたジオスポットを巡るバスツアー実施。

○ 日 時：12月1日（日）

○ 場 所：鳥取砂丘ビジターセンター、湖山池阿弥陀堂など

○ 参加者数：参加者26名

(3) ジオカヤック整備（香美町）

クリアカヤック1艇を海の文化館へ保管し、町内スクール等へ貸出を行う。

(4) 幟旗、ロゴマーク等による環境整備（鳥取市）

鳥取市内に幟旗、ロゴマーク等を掲示しジオパーク活動の推進機運を醸成した。

令和元年度拠点施設事業報告

1 山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館

(1) 海と大地の自然館の資料収集研究・展示充実・教育普及

拠点施設としてジオパークの魅力発信とジオパーク学習等の取り組みを行った。

- 資料収集研究：地形地質・生物に関する調査研究
- 展示充実：動物剥製標本等作成
- 教育普及：野外観察会、自然講座、学習会、講演会、鳥取砂丘ビジターセンター共催講座・企画展等

(2) 岩石学習エリアの整備

来館者の受入体制を強化するため、山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館の裏庭に山陰海岸の岩石を展示・学習できる庭園を整備し、中核拠点施設としての機能向上を図った。

(3) 外国人対応職員の設置

山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館に外国人対応職員を1名配置した。

(4) テレビ電話通訳サービスの運用

12ヵ国語対応のテレビ電話通訳サービスを利用できるタブレット端末を拠点施設等に配備した。

2 新温泉町山陰海岸ジオパーク館

(1) 新温泉町山陰海岸ジオパーク館開館10周年記念事業

- 開催日：令和元年10月12日（土）
- 場 所：新温泉町山陰海岸ジオパーク館
- テーマ：新温泉町山陰海岸ジオパーク館開館10周年を迎え、これまでの活動の振り返りを行うとともに拠点施設として今後の発展について考え共有する。
- 内 容：記念講演「国際宇宙ステーションから考える地球の生活」
講師 谷垣文章氏（JAXA きぼう利用センター 主任研究開発員）ほか、6名の取組報告とパネルディスカッション「山陰海岸ユネスコ世界ジオパークを活用して、今後どのような活動をしたいか」
- 参加者：60名

(2) 山陰海岸ジオパーク館のパワーアップ事業の実施

津波実験装置導入、スマートグラスを活用したARコンテンツ導入、案内用大型ディスプレイ等機器導入、施設修繕改修

(3) 山陰海岸ジオパーク館の展示充実・教育普及

拠点施設としてジオパークの魅力発信とジオパーク学習等の取り組みを実施

- 企 画 展 示：点描画展、浜坂中学校学生新聞、山陰海岸ジオパーク中高生政策提案・実施コンテスト審査及び児童研究作品コンテスト合同表彰式・発表会
山陰海岸ジオパーク児童研究作品コンテスト巡回展、「キョウコのと きめく石の世界」巡回展
- 現地見学会：5回実施

- 5/22 (木) 第1回「矢田川支流の湯舟川源流を訪ねる」
- 6/21 (金) 第2回「但東町の中世の山城亀ヶ城を訪ねる」
- 7/10 (水) 第3回「鳥取南部 霊石山を歩く」
- 9/20 (金) 第4回「出石の歴史と文化を訪ねる」
- 10/24 (木) 第5回「中世寺院の相応峰寺と楞嚴寺を訪ねる」
- 教育普及：夏のジオ体験教室4回実施（参加者計28人）ほか、館内学習163件実施

3 山陰海岸ジオパーク京丹後市情報センター

道の駅てんきてんき丹後内にある情報センターへの来館者に対して、山陰海岸ジオパークの普及啓発・案内等を実施した。

- オリジナル缶バッジ作り体験、鳴き砂体験
- 案内実績：21,492名

4 玄武洞公園案内所

(1) 玄武洞ライトアップイベント

玄武洞の集客を図るため、「百六十万年前の大地の煌めき」と題し、(株)JTBとの共催により夜間のライトアップを実施した。

- 開催日：令和元年10月4日(金)～26日(土)までの週末に計9回（うち1回は台風の影響で中止）
- 集客数：80人

(2) 地域づくり団体全国研修交流会兵庫大会（同大会実行委員会主催）

地域づくり団体全国研修交流会が兵庫県で行われ、その第8分科会を玄武洞ガイドクラブが担当した。ジオパーク活動を通して、全国の地域づくり団体と地域づくりについて語り合い情報共有を図った。

- 開催日：令和元年11月9日(土)～11日(月)
- 場所：第8分科会会場 豊岡市但東町「ホテルシルク温泉やまびこ」

(3) 第6回APGNシンポジウムに参加

- 開催日：令和元年9月2日(月)～6日(金)
- 場所：インドネシア
- 発表：口頭発表 玄武洞ガイドクラブ

「Challenges and Results of the NPO Genbudo Guide Club」

(4) 玄武洞公園の保護保全

青龍洞のクズ処理を実施

5 ジオパークと海の文化館

拠点施設としてジオパークの魅力発信とジオパーク学習等の取り組みを行った。

(1) 夏休み期間中の子供向けワークショップの実施

- 蛇紋岩ペンダント作成（期間中の毎土曜日） 参加者60人
- 岩石標本作成（7月20日、8月4日、25日） 参加者100人

(2) ジオパーク公認ガイドトレーニングの受け入れ

- 日程 11月10日～12月22日の内9日

(3) 第22回海の絵画展

- 小中学生による“海”をテーマにした絵画展
- 日程：1月20日～3月1日 出展196点
- (4) ユネスコ世界ジオパーク山陰海岸ジオパーク拠点施設充実事業
 - 山陰海岸ジオパーク拠点施設ディスプレイ展示備品設置
- (5) ジオカヤック貸出事業 3件
- (6) 町内小学校、公民館の出前講座の対応 8件

6 渚交流館

(1) マリンアクティビティ

浦富海岸エリアの自然体験施設で、シーカヤック、サップ、シュノーケリング、サーフィンなどたくさんの体験メニューを準備している。

マリンアクティビティ利用実績（単位：人）

	カヤック	サップ	シュノーケル	サーフィン	計
H30	4,334	682	278	316	5,610
R1	4,909	746	355	329	6,339

(2) 第6回APGNシンポジウムに参加

- 開催日：令和元年9月2日（月）～6日（金）
- 場 所：インドネシア
- 発 表：ポスター発表 浦富海岸シーカヤック協議会「Kayaking Tour and Ocean Cleanup for local development in the San' in Kaigan Geopark」

7 鳥取砂丘ビジターセンター

(1) 館内での集客促進事業（鳥取市）

関連団体との連携によるツアー・イベント及び企画展示の実施

ア 山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館、山陰海岸ジオパーク推進協議会との共催・後援によるイベント及び企画展示の共同開催

○ 企画展

- ・ 漂着物・海ごみを知ろう 3/25～4/21（期間中来館者数：14,175人）
- ・ 魅力いっぱい多鯨ヶ池 8/1～9/8（期間来館者数：48,082人）
- ・ 海ごみってなんだ 9/28～11/4（期間中来館者：28,793人）
- ・ 山陰海岸ジオパーク推進協議会 巡回展
JGNポスター発表 12/5～12/16（期間来館者数：6,884人）
児童研究作品コンテスト 12/17～1/7（期間来館者数：15,276人）
- ・ キョウコのと きめく石の世界展 1/11～1/30（期間中来館者：8,808人）

※山陰海岸ジオパーク関連施設巡回展

豊岡市コウノトリ文化館 2/5～2/26

新温泉町山陰海岸ジオパーク館 2/28～4/20

香美町ジオパーク海の文化館 4/23～5/10 ※休館のため中止

- ・ 漂着物・海ごみをしろう 3/17～4/12（期間中来館者数：14,054人）

※香美町ジオパーク海の文化館への巡回展 4/23～5/10※休館のため中止

○ イベント、ワークショップ

- ・ 海ごみ調査隊 4/6（土）参加者：8名
- ・ 漂着物 de アート 4/13（土）参加者：22名
- ・ レジンペレットを探せ 10/12（土）※台風のため中止
- ・ 岩石標本づくり ①10/19（土）参加者：19名 ②1/12（日）参加者：17名

- ・SDGsカードゲーム 10/20（日）参加者：19名
- ・ギャラリートーク「あなたの知らない石の世界」参加者：30名程度
- ・打ち上げ（漂着）貝で標本作り 3/20（祝金）※コロナウイルスを考慮し中止
- ・漂着物、海ゴミ調査隊 3/28（土）※コロナウイルスを考慮し中止

イ 鳥取大学乾燥地研究センターとの企画展示の共催

- 鳥取の砂丘から世界の砂漠へ～砂丘と砂漠～
4/23～5/12（期間来館者数：31,875人）
- 鳥取の砂丘から世界の砂漠へ～乾燥地農業～
10/12～11/4（期間来館者数：28,793人）

ウ 他との連携によるイベント及び企画展示の開催

- 一般社団法人自然公園財団
 - ・らっきょう根切り体験 7/7（日）参加者：9名
 - ・ちびっこ砂丘探検隊2019 7/21（日）9/8（日）10/6（日）
参加者：40人 大学生スタッフ：22人 講師：5名 ※のべ人数
企画展：2020年2月1日～3月8日（期間中来館者数：17,791人）
 - ・たぶ～×大生「めざせ虫博士」6/1～6/3（期間中の来館者：15,580人）

エ その他

- ・鳥取砂丘調査研究会 10/19～10/31（期間来館者数：28,793人）
共催：鳥取砂丘未来会議
- ・砂丘カエル展 9/12～9/1（期間中の来館者：7,102人）
共催：公立環境大学 学生有志
- ・ぼくたちわたしたちの鳥取砂丘新聞 2020年3/1～6/30
協力：鳥取市立浜坂小学校4年生

(2) ガイド案内業務

○館内及び砂丘のガイド業務

- ・館内ガイド：4,934名（190団体）
- ・館外ガイド：2,334名（55団体）
- ・風洞実験：1,830回（18,629名）

○乾燥地研究センターとのガイド連携及びガイド養成講座の受講（認定ガイド1名）

- ・実施回数：6回、延べ人数199名

○ガイド後継者育成事業の実施（事業費：38千円）

- 砂丘ガイドの実施及びガイド後継者育成試行のため館内ガイド講習と交流会の実施
- ・ボランティアサポーター活動日数：35日、延べ活動人数：83名

(3) 職員のスキルアップ研修

- 令和元年度自然資源を活かすエコリズム・インタープリテーションの人材育成支援事業に参加
事前研修：11/12～13（参加者：10人、会場：鳥取砂丘ビジターセンター）
集合研修：11/20～23（参加者：2人、会場：日光国立公園 那須地域）
派遣研修：2020年3/4～5（参加者：8人、会場：鳥取砂丘ビジターセンター）

8 あおや郷土館

(1) ジオパークコーナー

鳴り砂、因州和紙、夏泊の海女漁などを常設展示し、普及啓発を行っている。その他に山陰海岸ジオパークエリアパネル、顕微鏡などの備品、海女漁の3Dプロジェクターの更新を行い、受け入れ態勢を整備した。

(2) 関連イベント

○ 鳥取市西地域いまむかし展

ユネスコ世界ジオパーク再認定を記念し、山陰海岸の変化を写真等で伝える企画展

- ・実施期間 4/20-5/26
- ・来場者数 908名

○ 第11回青谷高校授業作品展

山陰海岸ジオパーク中高校生政策提案・実践コンテストにて最優秀賞を獲得した

「青谷の魅力 和紙でPR大作戦！」の成果を展示

- ・実施期間 11/16-12/8
- ・来場者数 555名